

支援してくださる皆様へ ～心からの感謝をこめて～

- ❁ お陰様で、娘がこの春から国家公務員への採用が決まりました。皆さまのお力添えがあったことで、大変ありがたく思っております。
息子も、今後就職活動をするのか、大学院に進むか迷っているようですが、あと一踏ん張り、私も仕事を続けていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ❁ 高校3年間、温かいご支援をいただきありがとうございます。3月に晴れて卒業し、本人の希望により4月からは専門学校へ進学します。
- ❁ 三男の就職が無事に決まりました。これまでの支援、本当にありがとうございました。大変助かりました、感謝いたします。次男は大学生活あと一年。もうしばらくはお世話になると思います。よろしく願いいたします。
- ❁ 3月に息子が無事に高校を卒業いたします。県外の大学も推薦で決まりました。4月から新しい生活が始まりますが、これからも頑張ってくれると思います。
また、娘も勉強、部活に頑張り学校生活を楽しんでおります。このように子どもたちが頑張れたのは、夫を亡くした当初から私たちに寄り添い、たくさんのお力をお貸しいただいたみなさんのおかげだと思っています。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。これからは子どもたちを見守りながら私も頑張っていけたらと思っています。
- ❁ いつもお世話になっております。皆さまには多大なるご支援をいただき、感謝しております。ありがとうございます。
おかげ様で高3の娘も勉強、部活に励み、毎日充実した日々を過ごしております。現在、大学進学のための勉強を頑張っています。
息子も専門学校にていくつも資格を取得し、自身の将来を考えているようです。今回も、奨学・育成金給付申請をさせていただきますのでよろしく願いいたします。
- ❁ 一年は長いようで早いものですね。
昨年4月に、息子が晴れて高校を合格し喜んでいたのもつかの間、現在は高校卒業について息子と話し合っています。
今のところ大学進学は考えていないようで、公務員の試験を受ける予定です。学校からの推薦で専門学校の公務員講座を受けることができたり、担任の先生から色々な情報提供をいただいたり、「全力でサポートする」と心強いお言葉をいただき、息子本人もやる気がでています。「一発合格!!」できるように母親の私も全力でサポートしていきます。
新聞を見ていると「交通遺児に寄付」の記事を目にします。寄付は、職員からの寄付を募ったり、職場のバザーやチャリティーでの売り上げだったり、色々な寄付になっています。
この寄付により、交通遺児の子どもたちが多く助けられています。感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝の気持ちを忘れず、将来は私たちが寄付することができるよう、しっかりとした将来設計をしていきたいと強く思っています。

- ❁奨学育成金、見舞金を受け取りました。本当に本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。子供達の進学費用等に、是非活用したいと思います。
父親の事があって、一時は本土へ進学する事を諦めていましたが、回りからのあたたかい声かけや支援等を利用し、本人達の希望する大学へ受験する事にしました。
二人共一緒に県外へ進学してしまうのでかなり寂しくなりますが、二人の希望なのでここ沖縄から陰ながら応援したいと思っています。
- ❁いつもお世話になっております。毎年援助いただき、心から感謝いたします。
常々、子供達にも感謝の気持ちを忘れないよう伝えていきます。ありがとうございます。
- ❁いつもご支援いただき、お陰様で子供達も部活や塾へ通うことができいております。本当に皆様のあたたかいお心遣いに感謝しております。ありがとうございます。交通平和を願って。
- ❁長男はこの春から一人暮らしをはじめ、保育の学校の役員や地元のシニアリーダー、講師を引き受けたりと、日々忙しいながら楽しんでいるようです。長女は勉強や、夏休みには部活の陸上も「頑張る!」と。
私も子どもたちに負けず、家事や仕事を頑張ります!機関紙「南風」を見ながらいつも本当に感謝しています。
- ❁いつもお世話になっております。育成会事務局の皆さまをはじめ、支援をしてくださる皆さまにいつも感謝しております。給付金のおかげで子ども達もそれぞれの目標をもって学業に励んでいます。
- ❁寄付支援してくださる方々へ、いつも本当に感謝しています。
夫が他界した時、子供達はあまりに幼過ぎ父親の面影があまりない様で、最近、写真を見せては想い出話をしながら懐かしんでいます。
今日まで本当に長い道のりでしたが、近頃では次男坊の反抗期に育児奮闘中で、4月から子供達は新たな学校生活が始まると思ったらまだまだ気が抜けません。
これからも子供達の成長を見守りながら、親子3人で毎日楽しく頑張っていくつもりです!
- ❁夫が他界したとき、長女は中学2年生、次女が小学4年生。現在次女は高校3年生です。
4月から長女も就職が決まり、奨学金給付を頂くのも最後となりました。寄付してくださった方々、これまで本当にありがとうございました。交通遺児育成会の職員の皆様にもお世話になりました。感謝申し上げます。
- ❁長い間、皆様に支えられ、親子ともに頑張ってきたと感謝しています。
その後もいろいろあり、前にご報告していた会社とは別の就職先で息子も奮闘しています。皆様にとって素晴らしい一年になりますように!
- ❁6年間の長い間大変お世話になりました。子供達はまだ学生ですが、将来、人の役に立てる社会を目指して日々努力しております。
今回給付申請は行わず、家族で頑張っていこうと決めました。他の多くの交通遺児の方々に支援の手が広がっていく事を希望しています。6年間本当にありがとうございました。

- ❁いつも私たち家族を見守ってくださりありがとうございます。いろいろなイベントチケットなどもいただき、子どもたちのさみしい思いをだいぶ解消してくれていると思います。
- ❁いつもありがとうございます。
おかげさまで当初小学校1年だった娘が、中学校へ入学しました。あっという間の6年間でしたが、皆さまからの温かいご支援があり、安心して学校生活を送ることができました。本当に感謝しております。
- ❁いつもありがとうございます。おかげさまで私たち家族の生活の支えとなっております。皆さまの働きかけ、善意に心より感謝いたします。
- ❁長い年月、ご支援、ご協力頂き深く感謝しております。
何度もお礼の手紙をとペンをとるのですが、あの悲惨な事故を思い出し、これまでお礼のお手紙や現状報告などできませんでした。
心身ともに弱り、心のよりどころは育成会が定期的に送ってくださる「南風」だけが唯一の心の励みでした。辛く苦しい思いをしている方々が大勢いらっしゃり、その方々のコメントなどを読むことで、私自身かなり勇気づけられ感謝しております。
家計を支えるため、朝早くから夜遅くまで働き、子供にはとても寂しい思いをさせ、主催のクリスマス会や各イベントには参加したことが一度もありません。
息子が高校生になった頃、中学までいじめられていたことを初めて打ち明けてくれました。
“コウツウイジ”とみんなから呼ばれ、周りの父母からは本人に直接“可哀そうな子”などと言われ、自分はみじめな子なんだと思い込み、卑屈になっていた時期もあったようです。
子どもの心のケアもできず、辛い思いをしていたことも知らず・・・今更ながら痛切に反省しております。
将来の夢を現実にするために、本人も全力で頑張っております。企業、団体、個人の方々のお陰で学費の負担も軽減され、とても助かっております。誠にありがとうございます。
これからも何とぞ、ご支援、ご協力の程お願い申し上げます。
- ❁これまで招待して下さった展覧会や音楽会へ家族で行ってきました。クラシック音楽会では、亡き夫が好きだったキロロの曲を生で聞けて良かったです。涙が止まらず思い出しては、子ども達と感動していました。楽しいひとときをありがとうございました。
- ❁突然の交通事故で夫を亡くし、3名の子どもを抱えた生活は、毎日が不安で仕方ありませんでした。仕事に追われる中、子ども達には寂しい思いをさせてきたことと思います。そんな中、育成会から送られてきたイベントを親子で鑑賞し、帰宅後も親子で貼り絵を楽しみました。
事故はとても悲惨なことではありますが、今ではその何倍もの愛情を、私たち親子は受けていると感じています。本当に有り難うございます。